

平成30年度学校評価自己評価一覧表（校務分掌、学年団）

目標
=目指す
生徒像

- ① 授業を大切に、向学心に燃える 笠高生
- ② 自分の目標を持ち、その実現を目指す 笠高生
- ③ 部活動で自己を鍛え、互いに切磋琢磨する 笠高生
- ④ マナーや時間を守り、規律のある 笠高生

- ⑤ あいさつや言葉遣いに、気配りできる 笠高生
- ⑥ 清楚な服装・身だしなみの、さわやかな 笠高生
- ⑦ 地域社会に貢献する、意欲と行動力にあふれた 笠高生

- A よくできている
- B だいたいできて
- C 少しできている
- D ほとんどできて

分 掌	目標番号	項 目	目標実現のための具体的方策	評 価		
				9月	2月	総合
総務部	④	決められた時間と身の回りの備品を大切に	防災訓練では事前に避難経路を周知徹底し、決められた時間を守るようにする。ロッカーや机、いすなどの備品を大切にすることを通して、規律ある学校生活を送る基礎を身に付ける。また備品は傷つけることのないように、常に生徒に呼びかける。			
教務部	① ④	基礎学力の向上と学習習慣の定着 授業に取り組む姿勢の確立	朝の10分間勉強をさらに充実させるため、内容や問題量などを検討する。10分間勉強の学習時間を守り、十分指導ができるよう呼びかけることで、生徒の基礎学力向上と落ち着いて学習に取り組む習慣を身につけさせる。授業の始まるチャイムを守り、授業時間の充実を図ることによって、生徒の興味関心に繋がる分かる学習指導を推進する。出欠状況の把握や保健室利用等の情報の共有など、個々の生徒に対しても迅速な対応ができるようにする。			
人権・ 和教 育部	⑦	生徒・保護者の人権意識向上 地域との交流	各学年ごとに実施している人権・同和教育LHRが生徒の心に残るものとなるように内容を充実・発展させる。人権通信(教職員版)(生徒版)(保護者版)の発行やPTA新聞への投稿、文化祭での人権展、人権映画会などを通じた啓発に努める。上高野文化センター・児童館における文化祭への参加や交流活動を行い、地域の方々と触れ合うことで人間的なつながりを深めるとともに、社会とのつながりの中で自尊感情の醸成に繋げていく。			
特別 活動部	③ ⑦	部活動の活性化 地域社会に貢献する	・学校行事や部活動、及びボランティア活動等、生徒が積極的に活動できる環境作りに努める。笠高生として学校や地域社会に貢献する。 ・生徒主体の生徒会を確立する。全職員で生徒会業務に関わる。			
生徒 指導部	⑤ ⑥	積極的に挨拶をする 制服着用の規定 良好な人間関係の育成	年間を通して毎朝の校門指導で、職員から生徒に挨拶をするように取り組んでいる。その結果、生徒も挨拶ができるようになってきたので、今年度も続けていきたい。また、服装等の指導は、スカートの長さや頭髪指導などを各学期ごとに取り組めたので、今年度も根気よく取り組んでいきたい。さらに、いじめ防止等、生徒・保護者のアンケート調査の実施、実態把握に努め、情報の共有を行い、未然防止、問題に関しては早期対応をはかる。			
教 育 相 談 部	②	自己理解のための援助	生徒が自分の気持ちや考えを整理して、表現できるよう支援していく。そのために、まず学校生活の様々な場面で、生徒が相談しやすい環境作りに努める。また、それをささえるために、担任や関係職員、保護者と連携し、情報共有できるように活動することも心がける。その際に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門的知識や経験も活かすことができるように連携の効果的促進も目指す。			
進 路 指 導 部	②	進路意識の向上(1,2年) 全生徒の進路先決定を支援(3年)	・1年間の進路指導計画に従い、具体的な将来の目標を持てるように進路意識を高める支援をする。(1,2年) ・1学期に進路指導関係の行事を集中させて、進路先をほぼ決定させる。2学期はさらに具体的に、進路決定に向けての支援をする。(3年)			
保 健 部	②	健康の保持増進・体力の向上	健康に関する基礎的な知識を習得し、意識を高め、体力の向上と健康の自己管理ができるように取り組む。また、健康診断等の結果をもとに自主的に健康づくりを実践する力を養う。			
農 場 部	⑦	地域社会に積極的に貢献する 態度を養う	各学科の知識・技術の学習を深めながら、専門的な基礎・基本事項の確実な定着を図る。また、交流活動や地域連携行事等の指導・援助を積極的に行うことで、笠高生としての自尊心を持たせる。			
家 庭 部	②	自分の目標を持ち、その実現を目指す笠高生	話をしっかり聞き、意欲的に授業に取り組ませる。また、家庭科技術検定や各種コンクールに積極的に取り組ませ、専門性を高める。			
1 年 団	①	規律ある生活習慣の確立 向学心の育成	・円満な人間関係を構築する第一歩となる挨拶を習慣づける。 ・学級活動や学校行事、部活動への積極的参加を通して集団への所属意識を高め、集団生活における礼儀や心配りを涵養する。 ・授業規律を確立し、自ら学ぶ意欲を育てる。			
2 年 団	②	卒業後の理想とする将来像をイメージさせ、2年次からその実現のために各種の目標設定をして課題に取り組んでいくことで、より高い進路意識をもたせる	校内だけではなくあらゆる生活場面での自主的な挨拶や、学習・実習・清掃・部活動等に積極的に取り組む姿勢が人間形成に重要であり、将来の豊かな社会生活に密接につながっていることを意識づける。また、進路選択に役立つ情報に接する機会を多く与え、資格取得や検定にすすんでチャレンジしていける雰囲気を作る。			
3 年 団	②	進路実現のための学力を身につけるとともに、社会性を養う	進路情報誌やJSTとの面談、就職説明会やオープンキャンパスなどへの参加を奨励する。また、授業や学校行事を大切に、社会に貢献できるように責任感や協調性、さらに専門的な知識を身につけさせる。			

分 掌	目標番号	項 目	目標実現のための具体的方策	評 価	
				9月	2月 総合